

## 横浜市立大学医学部附属病院における

## 医療事故への対応の経緯について

平成11年1月 横浜市立大学医学部附属病院において患者取違い事故が発生

事故の概要： 肺を手術する予定の患者と心臓を手術する予定の患者とを取り違い、それぞれ目的以外の手術が行われたもの。

大学病院という一般に高い機能を持つと認識されている病院において、数多くの医療従事者が関わっていながら誰1人として手術途中で患者誤認に気付かなかったことなどから、国民の関心を集めることとなった。

6月 医療審議会が横浜市立大学医学部附属病院の特定機能病院の承認辞退を勧告

8月 横浜市立大学医学部附属病院が特定機能病院の承認を辞退

平成12年2月 横浜市立大学医学部附属病院が特定機能病院の承認を申請

3月 ヒアリング及び実地調査の結果を踏まえ、特定機能病院としての承認を与えることは時期尚早とされ、経過観察の取扱いとなった

12月4日 医療施設機能部会においてヒアリング実施

12月14日 医療施設機能部会においてヒアリングを踏まえて審議

12月19日 安全管理体制に関する実地調査を実施

12月20日 横浜市立大学医学部附属病院の特定機能病院の承認を認める  
答申

平成13年1月 特定機能病院として告示の予定